

活動報告書

報告日付:2019年4月9日
事業ID:2017460907
事業名:香川県丸亀市における第三の
居場所の運営
団体名:一般社団法人SKYあーと
事業完了日:2019年3月31日

1.事業内容

第三の居場所の運営

- (1)期間:2018年7月1日～2019年3月31日
- (2)場所:香川県丸亀市
- (3)内容:「第三の居場所」をつくり、そこで社会的相続を補完するため、拠点には専門スタッフを配置し、子ども達の生活習慣形成や非認知能力・学習意欲向上を図る。

2.事業内容詳細:

対象学校の児童生徒に放課後から夜7時までの間、安心して安全に過ごすことのできる居場所を提供し、宿題の補助や読み聞かせ、体験プログラムによって学習支援を行いながら、ニーズに応じて食事を提供し、歯磨き、入浴に関する生活習慣の形成をサポートした。また、学校や行政等各種関係団体とのケース会議に参加した他、保護者への相談援助業務を行うことによって子ども達が安心して過ごせる「第三の居場所」外における育成環境の醸成にも寄与した。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- 1.拠点利用児童の募集
- 2.児童への居場所・読み聞かせ、学習支援・食事の提供
- 3.保護者、地域、行政との関係構築
- 4.全国展開に耐える事業モデルの構築

【目標の達成状況】

- 1.行政と協力して拠点利用児童の募集を行った。
- 2.全開所日において実施した。食事の提供については児童と保護者の世帯ごとのニーズに応じた対応をとった。
- 3.保護者との関係性:子育てについての勉強会へのお誘いや親子参加のイベントなどを通じて相談しやすい関係性を目指して対応してきた。
地域との関係性:ボランティア、食材の寄付などをいただきたくさんの方に応援してもらっている
行政との関係性:実際に利用している児童の変化を通じて、事業内容への理解や対応を検討してもらっている
- 4.地域や行政との繋がりを重視しつつ、社会的相続を補完するための知見を蓄積し、他拠点にも展開できる仕組みを採用した。たとえば、食事や体験学習を提供できる子ども食堂の開催を通じて学校への周知なども行っている。子どもから家庭や学校の様子を聞きながら必要があればそれぞれの専門分野につなぐ役割も担えるようにしたい。